

平成28年度 事業報告

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

平成28年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、活性化関連活動として、with Dam★Night2016を東京の外、仙台、神戸、山口、福岡の各地で開催するとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページにバナー「ダムを歩こう」を付与した。

調査研究委員会では、7つの研究部会の活動とともに、交流研究事業として、2つの継続研究テーマに加えて1つの研究テーマに着手した。

さらに、「これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会」は、委員会での議論や専門家の方からのヒアリング等を踏まえ、平成28年11月に報告書を取りまとめた。

会員数は、平成28年度末現在、正会員は785名、学生会員は79名、賛助会員は52社となり、平成27年度に比べて、正会員は7名、学生会員は29名の増加となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により着実に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

平成28年5月31日に通常総会を開催し、平成27年度事業報告及び収支決算、理事選任について承認を得るとともに、平成28年3月の理事会で承認された、平成28年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

○ 第26回 通常総会

日 時 : 平成28年 5月31日 14:00～
場 所 : 星陵会館 2Fホール
出席者 : 450名 (うち委任状による出席者321名)
議 題 : 平成27年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
 理事選任
報 告 : 平成28年度事業計画及び収支予算
 新任役員等の紹介

(2) 理事会

以下の通り理事会を3回開催した。

○ 第65回 理 事 会

日 時 : 平成28年 4月20日 15:00～17:00
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 第26回通常総会議案について
報 告 : 防災学術連携体への入会について

○ 第66回 理 事 会

日 時 : 平成28年 5月31日 15:00～15:20
場 所 : 星陵会館 E会議室 (1 階)
議 題 : 会長・副会長の選出について
 顧問の選出について
 ダム工学会表彰委員会委員選出について
 ダム工学会選考委員会委員選出について
 理事の委員会委員委嘱について

- 第67回 理 事 会
 - 日 時 : 平成29年 3月17日 13:30～15:30
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成29年度事業計画(案)について
平成29年度収支予算(案)について
 - 報 告 : 平成28年度事業執行状況について
『これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委会』
活動報告について
会員数の推移について
国土交通省での「ダム再生ビジョン」策定の動きにつ
いて

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を2回開催した。

- 第35回 評議委員会
 - 日 時 : 平成28年 4月26日 15:00～17:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成28年度 理事の推薦(案)
平成28年度 評議委員(案)
第26回通常総会議案
- 第36回 評議委員会
 - 日 時 : 平成28年 8月12日
 - 場 所 : 書面にて開催
 - 議 題 : 平成28年度評議委員の選出(案)

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下のとおり開催した。

1) 企画運営委員会

- 第80回 企画運営委員会
 - 日 時 : 平成28年 4月15日 10:00～12:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 第26回通常総会議案について
- 第81回 企画運営委員会
 - 日 時 : 平成29年2月22日 15:00～17:00
 - 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 議 題 : 平成29年度企画運営委員会事業計画(案)について
平成29年度企画運営委員会予算(案)について
 - 報 告 : 平成28年度企画運営委員会事業執行状況について
- 各小委員会の活動内容
 - ① 総務小委員会
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計(会費の徴収を含む)の報告を行った。
 - ② 学術研究発表会小委員会
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

- ③ 講習会小委員会
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ④ 現地見学会小委員会
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。
- ⑤ 広報小委員会
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。
また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行うとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページにバナー「ダムを歩こう」を付与した。
- ⑥ 活性化推進小委員会
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2016、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第106回 編集委員会
日 時 : 平成28年 4月21日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第107回 編集委員会
日 時 : 平成28年 7月14日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第108回 編集委員会
日 時 : 平成28年 10月14日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第109回 編集委員会
日 時 : 平成29年 1月20日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
日 時 : 平成28年 5月25日 15:00～
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究部会)
交流研究連絡会議の状況報告について

- 第2回 調査研究委員会
 日 時 : 平成28年12月21日 10:00～
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究部会)交流研究連絡会議の状況報告

4) これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会

用水、エネルギー供給、洪水被害の軽減等の面で社会・経済を支えてきたダム貯水池について、その機能の維持・向上又は適切な機能を発揮させるために解決すべき、計画・運用面の課題について整理検討するため、平成27年度に委員会を設置した。委員会での検討や専門家の方からヒアリング等を踏まえ、平成28年11月に報告書を取りまとめた。

- 第3回 これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会
 日 時 : 平成28年7月26日 15:00～17:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 参考資料の紹介
 国土交通省治水課ヒアリング結果報告
 委員会報告書(案)の説明・討議
 今後の作業の進め方
- 第4回 これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会
 日 時 : 平成28年11月1日 10:00～12:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 委員会報告書(案)の説明・討議
 今後の予定
- ヒアリング
 日 時 : 平成28年7月15日
 ヒアリング : 国土交通省水管理・国土保全局治水課
 内 容 : 基本方針の洪水調節容量についての確認

5) ダム工学会賞の関係委員会

- 平成28年度 選考委員会
 日 時 : 平成29年 2月23日 13:30～15:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 技術賞の授賞者選考
 功績賞、技術功績賞、論文賞の各候補者選考
- 平成28年度 表彰委員会
 日 時 : 平成29年 3月 7日 13:30～15:00
 場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議 題 : 優秀発表賞・技術賞の授賞者選考経過報告
 功績賞、技術功績賞、論文賞、の授賞者選考
 報 告 : 『これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会』報告
 オロビルダムの紹介

2. 行事活動

(1) 学術講演会

- 第26回 特別講演会
日 時 : 平成28年 5月31日
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
講 演 : 国土交通省霞ヶ浦導水工事事務所 所長 田畑 和寛 氏
『平成27年9月関東・東北豪雨における
鬼怒川上流4ダムの操作について』
参加者数 : 142名

(2) 研究発表会（講習会と合同開催）

- 平成28年度 ダム工学会研究発表会
日 時 : 平成28年11月24日 9:30～13:15
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 約100名
発表論文数 : 4編
優秀発表賞 : (優秀発表賞選考委員会での選考)
『ダムの振動特性の可視化による時系列変化の分析の試み』
国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部
小堀 俊秀 氏

(3) 現地見学会

- 第42回 ダム工学会現地見学会
日 時 : 平成28年11月10日～11日
実施場所 : 羽地ダム、大保ダム、漢那ダム、金武ダム
参加者数 : 46名

(4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 平成28年度 ダム工学会講習会
日 時 : 平成28年11月24日 13:15～17:00
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 約100名
講 演 : 土木研究所 地質研究監 山口 嘉一 氏
「管理ダムにおける技術的課題と今後の展望」
九州地方整備局立野ダム工事事務所
副所長 寺下 進一 氏
「熊本地震における立野ダムの状況」
ダム技術センター 理事 吉田 等 氏
「ダム技術に関する話題」

(5) 活性化関連活動

- 第11回北海道地区現場見学会
(北海道土木技術会コンクリート研究委員会との共催)
開 催 日 : 平成28年10月5日
見学場所 : 厚幌ダム（事業者 北海道胆振総合振興局）
参加者数 : 75名

○ 第12回九州地区現場見学会及び講演会の開催

開催日 : 平成28年10月7日
見学場所 : 福岡県 伊良原ダム
参加者数 : 21名

講演 : ダム技術センター 首席研究員 箱石 憲昭 氏
「洪水吐きの機能とその形式の変遷」

福岡県伊良原ダム建設事務所 所長 倉本 一夫 氏
「伊良原ダムの概要」

大成・フジタ・岡本土木特定建設工事共同企業体
伊良原ダム建設工事事務所 所長 渡邊 耕一 氏
「伊良原ダムの施工」

○ 第3回 ダムを知るための若手技術者勉強会

開催日 : 平成28年 9月1日～ 9月2日
開催場所 : ハッ場ダム建設現場

概要 : 国土交通省関東地方整備局 品木ダム水質管理所
建設中のダムの工事現場や骨材製造設備及び河川の中和
事業を行う中和施設等の見学を行うとともに、ダムの基
礎知識講座、参加学生による研究発表会を行った。
参加者数 : 41名 (学生29名)

○ ダムなんでも相談室

開催日 : 平成28年 8月16日～ 8月18日
開催場所 : 東京国際フォーラムG棟701
概要 : ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対
話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。
来場者数 : 700名

○ with Dam★Night 2016

開催日 : 平成28年7月1日 (金)
開催場所 : 月島社会教育会館 5階ホール
参加者数 : 130名
サブテーマ : 「カンパイ! 傍(はた) 楽(らく) ダム」

WDN プログラム			
18:10	開会挨拶	ダム工学会会長	
18:15	夜嘶1「ダムの効用ー素人ダムファンの視点よりー」	東京大学教授	桑野玲子
18:45	夜嘶2「大蔵ダムを忘れないで」	ダムマイスター	安部 塁
19:10	休憩		
19:20	夜嘶3「水力発電で傍楽ダム」	電源開発(株)	河田暢亮
19:50	夜嘶4「オカンが語る "親子でダム巡り"の魅力」	ダムマイスター	NOW2000
20:20	夜嘶5「北海道のダム、あんなこと、こんなこと」	(株)ドーコン	尾山 玲
20:50	閉会挨拶		

- with Dam★Night in Sendai 2016
 開催日 : 平成28年12月2日 (金)
 開催場所 : 東北大学土木大講堂 101号
 参加者数 : 130名

WDNプログラム	
18:15 : 【開会の挨拶】	ダム工学会東北地区連絡会 総合司会 加納 実氏 会長 京谷 孝史氏
15:20 : 【講演会】	
夜嘶1「ようこそ、モノクロの世界へ。～雪ダムの魅力～」	ダムマイスター kazu_ma 氏
夜嘶2「津軽ダムを活用したダムツーリズムの取り組み」	青森県西目屋村長 関 和典 氏
夜嘶3「ダム見学いろいろ」	ダムファン HAL 氏
夜嘶4「ダム貯水池水質のはなし」	東北大学大学院准教授 梅田 信 氏
20:35 : 【閉会の挨拶】	国土交通省東北地方整備局 副局長 安田 吾郎 氏

- with Dam★Night in Kobe
 開催日 : 平成28年11月16日 (木)
 開催場所 : 兵庫県私学会館 3F
 参加者数 : 94名

■With Dam☆Night

17:30	開会 (挨拶 : ダム工学会 副会長 森 秀人)
17:40～ 20:05	<p>トークショー</p> <p>1. 17:40-18:00 はりまの暮らしと経済を支える「加古川大堰」 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長 朝田 将</p> <p>2. 18:05-18:25 下流河川環境改善へのとりくみー天然アユの復活なるか！？ー 独立行政法人 水資源機構 一庫ダム管理所 本田 真章</p> <p>3. 18:30-18:50 兵庫県のダムあれこれ 兵庫県 県土整備部土木局河川整備課 橋本 佳奈</p> <p>4. 18:55-19:15 ラオス ナムニアップ1水力プロジェクト 関西電力株式会社 土木建築室 土木建築エンジニアリングセンター 海外土木グループ 村上 嘉謙</p> <p>5. 19:20-19:40 「神戸にある歴史的な水道ダム」 神戸市 水道局経営企画部計画調整課 広域連携・水インフラ支援担当課長 松下 眞</p> <p>6. 19:45-20:05 「ダムに遺る交通土木」 ダム・土木・未成線愛好家 なの爺</p>
20:05～	ダムビンゴゲーム
20:30	閉会 (挨拶 : 京都大学防災研究所 教授 角 哲也)

■ダム関連パネル展示

ダム関連資料の展示 (場所 : 兵庫県庁1号館連絡通路) 展示期間 : 平成28年11月14日 (月) ～11月18日 (金)
--

■ダム見学会

布引五本松ダムスペシャルツアー 平成28年11月16日 (水) 13:30-16:30
--

- with Dam★Night in Yamaguchi 2016
 開催日 : 平成28年8月25日 (木)
 開催場所 : ニューメディア山口
 参加者数 : 83名

プログラム	総合司会 津山 奈穂子 様
18:00 : 【開会の挨拶】	
18:05 : 【講演会】	
①「鹿野川ダム改造事業について」ーダム改造の総合デパートー	国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 副所長 渡邊 健二 様
②「長安ロダムのリニューアル事例について」	鹿島建設(株) 土木管理本部 土木技術部 担当部長 後閑 淳司 様
③「四国のダムトピックス」 ダムマイスター	森部 翔也 様
④「ダム管理支援システムについて」	山口県 土木建築部 河川課 ダム班 横田 史郎 様
20:15 : 【中国・四国地方ダムクイズ】	
20:55 : 【閉会の挨拶】	
15:00～21:00 【展示品】	ダムカードパネル、ダムポスター等

- with Dam★Night in Kyusyu
 開催日 : 平成28年10月29日 (土)
 開催場所 : 天神ビル11 階10号会議室 (福岡市中央区天神2丁目)
 参加者数 : 132名

■ wDNプログラム	
15:00 : 開会挨拶	ダム工学会九州地区連絡会 会長 大塚 久哲
15:03 : 来賓挨拶	ダム工学会 会長 魚本 健人
15:05 : [プロローグ]	九州のダムとダムカレー ダム工学会九州地区連絡会 wDN実行委員会 酒井 匠
15:30 : [講演(1)]	新人どぼ女(ドボジョ)のダム建設体験記 九州地方整備局 大分川ダム工事事務所 調査設計課 津口 裕己乃
15:55 : [講演(2)]	いつもイキイキ! けんせつ小町! 大成建設・フジタ・岡本土木特定建設工事共同企業体 手嶋 菜美
16:20 : [講演(3)]	まずはダムに行ってみよう! ダム愛好家 Shotaro. A
16:45 : [報告]	九州のダム・水源地は地域にどのように親しまれている? ダム工学会九州地区連絡会 ダム好学ワーキンググループ 福田 直三
17:20 : [イベント(1)]	2016 九州ダムフォトコンテスト審査発表 ダム工学会九州地区連絡会 wDN実行委員会 太田 達雄
17:30 : [イベント(2)]	2016 wDN in Kyusyu フィナーレ 「ダムjackpot」 ダム工学会九州地区連絡会 wDN実行委員会 片山 善郎
18:05 : 閉会挨拶	ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 委員長 矢野 真一郎
【総合司会】 FM福岡パーソナリティー kaede	
【展示品】 ダムフォトコンテスト入賞作品・全国ダムカードパネル	
【参加人数】 132 名	
■ 懇親会	
18:30～20:00	【参加人数】 94 名

(6) その他

① 防災学術連携体

防災学術連携体は、防災減災・災害復興に関連する学会ネットワークであり、日本学術会議と連携して防災に関わる学会が集まり活動する。

第2回 防災学術連携シンポジウム「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」

日 時 : 平成28年 12月1日
開催場所 : 日本学術会議講堂
講 演 : ダム技術センター 理事 美濃部 博 氏
『滋賀県流域治水条例について』

② ダム再生ビジョン

国土交通省が検討している「ダム再生ビジョン骨子案」について、国土交通省治水課長などからヒアリングが行われた。

日 時 : 平成29年 3月27日
開催場所 : 経済産業省別館
対 応 者 : 魚本 健人 会長
濱口 達男 「これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題検討委員会」委員長

3. 研究活動

(1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

① コンクリートダム研究部会

新たな研究テーマについて討論を行い、「コンクリートダムは何年持つの？」を新テーマに技術コラム形式でまとめていくこととした。

- 第1回 コンクリートダム研究部会
期 日 : 平成28年 5月26日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第2回 コンクリートダム研究部会
期 日 : 平成28年 7月28日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 コンクリートダム研究部会
期 日 : 平成28年 11月8日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

② フィルダム研究部会

ダムのリスクマネジメントに関する研究の一環として、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧ならびにダム決壊洪水の伝播の研究」について現地見学を行い、報文の修正、報文の発表方法について検討した。

- 第1回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成28年 9月9日
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室
- 第2回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成28年 10月20日～21日
場 所 : 大分川ダム、大蘇ダムの見学
- 第3回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成28年 12月21日
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室
- 第4回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成29年 3月2日
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室

③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行うとともに、新規研究テーマについての検討を行った。

- 第1回 地質・基礎研究部会
日 時 : 平成28年6月14日
場 所 : 安藤ハザマ本社
- 第2回 地質・基礎研究部会
日 時 : 平成29年1月13日
場 所 : 安藤ハザマ本社

④ 維持管理研究部会

「ダム貯水池の有効利用等に関する事例研究」をテーマに、ダム貯水池の有効利用・活用、地域への情報発信について事例研究を実施し、学会誌「ダム工学」に部会報告用の原稿を作成した。また、次年度研究に向けた新テーマについて議論した。

- 第1回 維持管理研究部会
日 時 : 平成28年5月27日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第2回 維持管理研究部会
日 時 : 平成28年10月27日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 維持管理研究部会
日 時 : 平成29年2月17日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

⑤ 施工研究部会

施工研究部会のねらいは、コンクリートダム施工時に堤体に発生するひび割れに着目して具体的な事例収集と対応策について研究し、失敗事例から学ぶ事例集を作成することにある。施工研究部会のメンバーである6社が施工したダムの中から、ひび割れの発生事例を収集している。

平成28年度は、各社から提出された発生部位ごとのひび割れ事例について、事例集としての記載内容、ひび割れを発生させないための部会からの提案について具体的な検討を行った。平成29年度に成果をとりまとめる予定である。

- 第1回 施工研究部会
日 時 : 平成28年4月18日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 施工研究部会
日 時 : 平成28年6月27日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第3回 施工研究部会
日 時 : 平成28年9月16日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第4回 施工研究部会
日 時 : 平成28年11月25日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第5回 施工研究部会
日 時 : 平成29年1月23日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

⑥ 計測管理研究部会

交流研究事業の一環として、津軽ダム（堤高97.2m、重力式コンクリートダム、国土交通省東北地方整備局）において、山口大学と計測管理研究部会による現地調査を実施した。引き続き、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン（仮題）」のとりまとめを進めることとした。

- 第1回 計測管理研究部会
日 時 : 平成28年7月15日
場 所 : 国際航業株式会社 会議室
- 第2回 計測管理研究部会
日 時 : 平成28年11月29日
場 所 : 国土交通省東北地方整備局 津軽ダム

⑦ ダム技術史研究部会

ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を行った。

- 第1回 ダム技術史研究部会
日 時 : 平成28年4月27日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

- 第2回 ダム技術史研究部会
日 時 : 平成28年6月9日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 ダム技術史研究部会
日 時 : 平成28年7月12日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第4回 ダム技術史研究部会
日 時 : 平成28年10月6日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第5回 ダム技術史研究部会
日 時 : 平成29年1月19日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

(2) 交流研究事業

ダム技術の大学等の研究者への情報発信を強化し、ダム建設現場が大学等の研究フィールドとして積極的活用がなされるように、大学等の研究者に組み組んでもらいたい研究テーマを選定し、今年度は2つの継続研究テーマに加えて、1つの研究テーマについて新規に着手した。

- GPS 変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究 (継続)
研究者 山口大学大学院理工学研究所 清水 則一教授
研究フィールド 国土交通省東北地方整備局 津軽ダム
国土交通省中国地方整備局 尾原ダム
- ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究 (継続)
研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科
溝渕 利明教授
研究フィールド 全国各地域から最近完成した 35 ダムを選定
- コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究 (新規)
研究者 首都大学東京 都市環境科学研究科
大野 健太郎助教授
研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 湯西川ダム

4. 出版活動

学会誌「ダム工学」

平成28年度は、4回の会誌発行を行った。

- VOL. 26 No.2 平成28年 6月15日発行
- VOL. 26 No.3 平成28年 9月15日発行
- VOL. 26 No.4 平成28年12月15日発行
- VOL. 27 No.1 平成29年 3月15日発行

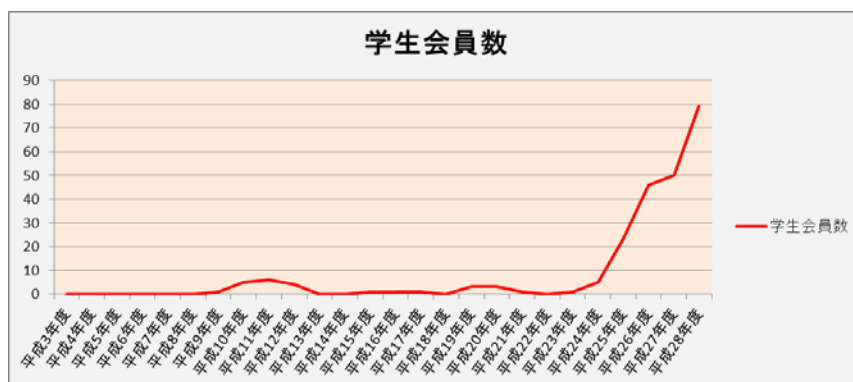
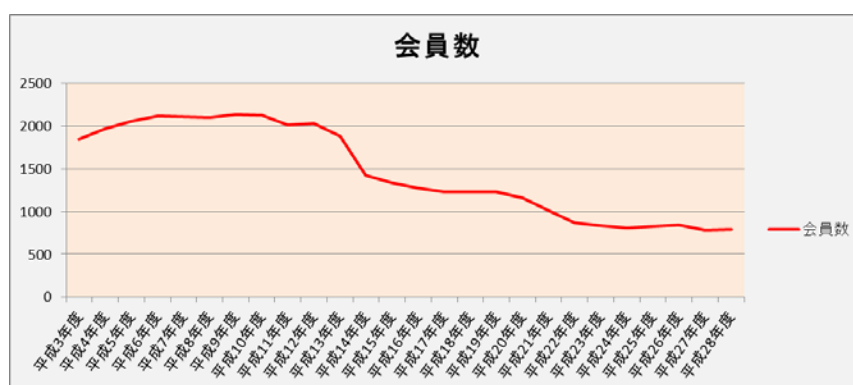
5. 会員入会状況

(1) 会員数等の推移

会員数

※会員数は年度末現在の値

会員種別	平成27年度	平成28年度	備 考
正 会 員	696 名	700名	4名増
シニア会員	82 名	85名	3名増
学生会員	50 名	79名	29名増
合 計	828 名	864名	36名増
賛助会員	52社	52社	



(2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会で「第3回ダムを知るための若手技術者勉強会」を開催し、参加した学生に入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象として通常総会案内時を通じて正会員への移行を呼びかけた。

平成28年度 収支決算報告

(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

議案 2

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,480,000	11,366,000	114,000	
①正会員会費	4,380,000	3,516,000	864,000	586口
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	100,000	250,000	△ 150,000	3口(3万)+4口(4万)
④賛助会員会費	7,000,000	7,600,000	△ 600,000	152口
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,248,000	2,466,400	△ 218,400	
①総務小委員会収入	370,000	540,000	△ 170,000	第26回通常総会懇親会費参加者数の増
②研究発表会収入	200,000	252,000	△ 52,000	平成28年度 研究発表会講習会参加費
③現地見学会収入	1,158,000	1,161,000	△ 3,000	現地見学会参加費
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	0	0	
⑥活性化推進収入	520,000	513,400	6,600	
若手の会	20,000	123,000	△ 103,000	ダムを知るための若手技術者勉強会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	30,000	23,000	7,000	現地見学会参加費
東北ブロック	0	0	0	
中部近畿ブロック	280,000	168,400	111,600	with Dam Night in Kobe参加費等
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	190,000	199,000	△ 9,000	第12回現地見学会参加費 with Dam Night in Kyusyu懇親会参加費
With Dam Night 2016	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,765,000	1,886,011	△ 121,011	
①会誌一般頒布収入	360,000	380,000	△ 20,000	
②会誌広告料	1,260,000	1,353,200	△ 93,200	広告の増
③抜刷別刷収入	75,000	94,240	△ 19,240	
④その他収入	70,000	58,571	11,429	JST和文抄録利用料・貯蔵品(諸謝金全剰分) フィルダムの変位計測に関するGPS 利用マニュアル
4. 図書出版事業収入	0	35,040	△ 35,040	
5. 雑収入 (①～②計)	1,352,000	1,600,044	△ 248,044	
①補助金収入	1,350,000	1,600,000	△ 250,000	河川整備基金助成事業(¥800,000) 九州地方計画協会(¥800,000)
②受取利息	2,000	44	1,956	
小計(1～5計)	16,845,000	17,353,495	△ 508,495	
6. 前年度繰越金	13,156,070	13,156,070	0	
合計(小計+6)	30,001,070	30,509,565	△ 508,495	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,643,000	9,576,570	2,066,430	
①研究発表会支出	800,000	706,590	93,410	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,340,000	1,131,841	208,159	現地見学小委員会 (大ダム会議と共同開催)
③講習会支出	250,000	91,620	158,380	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,873,000	1,137,210	735,790	表彰・選考委員会
⑤広報支出	380,000	374,760	5,240	広報小委員会(ホームページ改良)
⑥活性化推進支出	5,970,000	5,648,102	321,898	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,182,766	317,234	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	1,600,000	1,416,368	183,632	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	440,000	343,398	96,602	ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	250,000	159,756	90,244	with Dam Night 経費
中部近畿ブロック	570,000	795,067	△ 225,067	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中国四国ブロック	260,000	303,676	△ 43,676	with Dam Night 経費
九州ブロック	950,000	1,275,354	△ 325,354	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
with Dam Night 2016	200,000	171,717	28,283	with Dam Night 経費
ダム技術史講演会	200,000	0	200,000	対象：会員と一般
⑦調査研究支出	330,000	82,412	247,588	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	40,000	29,116	10,884	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	120,000	756	119,244	残高証明発行手数料
維持管理研究部会	70,000	756	69,244	現地調査 経費(H28年度は天候の 為、中止)
施工研究部会	50,000	0	50,000	部会 経費
計測管理研究部会	0	864	△ 864	残高証明発行手数料
ダム技術史研究部会	50,000	50,920	△ 920	部会 経費
交流研究連絡会議	600,000	159,300	440,700	交流研究補助金3テーマ分
これからの成熟社会を支えるダム 貯水池の課題検討委員会	100,000	244,735	△ 144,735	報告書印刷経費
2. 刊行支出	4,620,000	4,223,351	396,649	
①会誌作成費	4,620,000	4,223,351	396,649	発送料・抜刷別刷料含む(年4回)
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑮計)	2,010,000	2,766,896	△ 756,896	
①会場費	400,000	397,208	2,792	第26回総会 経費等
②会議費	680,000	660,679	19,321	第26回総会 経費等
③広報費	0	0	0	
④印刷製本費	310,000	224,964	85,036	第26回総会 経費等・ パンフレット作成費
⑤諸謝金	200,000	719,000	△ 519,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑥消耗品費	0	85,190	△ 85,190	事務局HDD購入費
⑦通信費	70,000	151,234	△ 81,234	会費請求書 送付等
⑧表彰費	0	0	0	
⑨支払手数料	50,000	100,974	△ 50,974	WEBバンク・口座振替手数料
⑩旅費交通費	50,000	0	50,000	理事会等 交通費(今年度は対象者 なし)
⑪車両費	0	0	0	
⑫保険料	0	0	0	
⑬コンサルタント料	130,000	174,386	△ 44,386	会計顧問報酬・登記簿本手続き代行 手数料
⑭雑費	120,000	149,510	△ 29,510	ダム日本購読料,日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑮源泉徴収費	0	103,751	△ 103,751	ダム工学会からの諸謝金に対する源泉 徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	18,373,000	16,566,817	1,806,183	
6. 繰越金	11,628,070	13,942,748	△ 2,314,678	
合計 (小計+6)	30,001,070	30,509,565	△ 508,495	